



京都市地域企業未来力会議 News Letter

令和6年
21号

2025年1月28日（火）に京都市地域企業未来力会議を京都市京セラ美術館で開催しました。今回は地域に根差して企業活動に取り組む地域企業を表彰する「京都市輝く地域企業表彰」の受賞企業、そして8月～11月の4箇月間にわたり行われた事業者連携による新たな可能性を模索する公益的な社会実験「京都・地域企業 未来の祭典2024 ～KYOTO ECONOMIC CULTURE FESTIVAL～」の取組の共有と、参加者による意見交換が繰り広げられました。



▲
京都市輝く地域企業表彰
WEBサイトはこちら



▲
地域企業未来の祭典2024
WEBサイトはこちら

京都市地域企業未来の祭典（KYOTO ECONOMIC CULTURE FESTIVAL）は事業者連携による公益的な社会実験を市内各地で「やってみよう！」と思いついた有志等が会議を重ね、約2～4ヶ月間にわたり「京都・地域企業宣言」に沿うような自主的な活動を通して、新たな可能性を模索しようとする取り組みです。

第一部： 京都市輝く地域企業表彰受賞企業や「未来の祭典」で 実施された各取組の共有

(1) 開会

京都市長

松井 孝治



京都府中小企業団体中央会

会長 安藤 源行 氏



公共サービスや地域の発展は「公」だけでは達成できない。地域企業に地域の発展に貢献いただきながら、様々な地域のコミュニティの中で大きな役割を担っていただくことが京都らしい。「京都市地域企業未来力会議」のこの場をはじめ、規模の大小ではなく、地域に根差し地域と共に発展する”地域企業”という価値観のもと、地域企業から「京都・地域企業宣言」が発表され、その理念を広く浸透させるために市が「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」を制定・施行した背景にも感銘を受けた。本日のこの場の対話においても、今後の市政の参考にさせていただきたい。事業を通じた地域課題解決を、地域企業にとっての新たなビジネス創出の機会として捉えていただき、地域の中でエコシステムを作ることで、地域の発展を育み、若い世代が地域に参画する未来を形作っていくことを期待している。

これまでから未来力会議に参加される地域企業の皆さんは京都の将来を見据え、実行性の高い取組を実行されている。そうした皆さんの熱意に御礼申し上げる。「経済なき道徳は寝言である」という言葉もあるが、事業を実行するためには経済性が重要であり、ここも見つけていただき、素晴らしい事業を実行していただきたいと思う。地域企業の課題は、1社や同一業種だけでなく異業種と連携し、多角的にみることで解決の糸口ができることもある。また、そういった支援や施策を考える際は企業の99.7%を占めている中小企業目線に立つことが重要。交流と信頼なくして連携は生まれません。そのために未来力会議のような場が重要である。今年度の素晴らしい発表や議論を期待している。

(2) 京都市輝く地域企業表彰や「未来の祭典」で実施された各取組の共有



新たな可能性を模索する社会実験や事業をはじめ、輝く地域企業表彰受賞企業など4事業者から、約7分間で取組や活動について発表いただきました。参加者から感じたことやコメントをアンケートでお答えいただきました。

01 有限会社河長

令和6年度輝く地域企業表彰 地域企業輝き賞・特別賞



「少しのきっかけで変わる。三方良し」

近江商人でもあった先祖が1751年金物屋を始め、現在は家具金物や什器等の内装金物を取り扱っている。顧客の99%は職人であることもあり、伝統工芸の後継不在の課題に疑問を感じたことから、2005年に「空間の会合」という名称でものづくり職人が集う交流の場作りや情報共有などを行い始めた。この交流の場から参加者に大口の受注が生まれた経緯もあり、祇園に「祇園京鳥」というコミュニティの場を作った。2017年には自社ビルに「ギャラリー京鳥」として移転し、展示、教室、勉強会、交流会など参加した方々の事業を応援している。

今後も、豊かな社会になるように地域企業に対し、“少しのきっかけをずっと”作っていきたいと考えている、と発表があった。

- 有限会社河長 ホームページ | <https://chobey.com/>

02 アトツギ縁日実行委員会

令和6年度輝く地域企業表彰 未来づくり貢献賞・特別賞



「アトツギが描く未来は地域の未来」

京都市役所に勤めながら、プライベートでアトツギ（後継者）を応援する活動を行っている。京都・滋賀を中心としたアトツギコミュニティ「アトツギラボ」を主催し、対話と表現、実験と共創の場をつくり様々な交流を広げている。この繋がりからアトツギ6名が共創し、“これまでの縁を集結し、新たな縁を広げる”をコンセプトにした「アトツギ縁日」を開催。当日は150名以上の来場があり、京都新聞等メディアの取材もあった。未来力会議の発表では、短期インターンとして参加した学生からもコメントがあり、大人が本気で取り組んでいる姿勢や純粋に楽しそうな様子に興味を持ち参加したこと、参加したことでアトツギという生き方を知ったことなど、アトツギ（≠跡継ぎ）に対するイメージが変わったとの発言があった。

3月8日に2回目の「アトツギ縁日」の開催が決定し、10社のアトツギが参画を予定している。今後の活動継続への決意と、地域企業への参加の呼びかけがあった。



- アトツギ縁日実行委員会 note | <https://note.com/helloryoota85>

03 株式会社大垣書店



「KYOTOZINE」

北区に本社を構え、「地域に必要とされる書店であり続けよう」を社是に、書店事業及び出版事業、飲食店事業を展開している。2021年に「本が作れる本屋」をコンセプトに堀川新文化ビルディングを開業し、「本づくり」をはじめた。京都の街の情報を定期発信する雑誌が不在である状況を鑑み、「地域の方に愛される雑誌を新しいかたちで継続していくということも地域に必要とされることなのではないか」と考え、雑誌づくりに新たに挑戦。かつて京都の地元情報誌制作陣も参画し、京都を愛するすべての人に向けたタウン誌「KYOTOZINE」を発行した。

今後の展開として会員コミュニティやフラッグシップストアも構想しており、雑誌を中心にさまざまな企画やコラボレーションを発信していくことで、京都の活性化を目指す。リアルな接点づくりや連携の呼びかけがあった。

- KYOTOZINE news | <https://www.books-ogaki.co.jp/kyotozine>

04 株式会社ヒューマンフォーラム



「RELEASE⇔CATCH」

京都独自の地域内循環のインフラ構築とそれを動かす人のコミュニティ形成をテーマにした古着回収事業を行っている。4者で連携協定を結び、京都信用金庫の店舗をはじめ京都市内を中心に回収ボックスを208箇所を設置し、回収を広げてきた。また、京都市と連携し、これまで若者と京都から生み出す新しい循環のムーブメント「循環フェス」をこれまで6回開催。のべ6万8000人が来場し、11.102kgの古着を回収。約120団体との関係性が広がった。古着だけでなく自転車、羽毛布団や食品残渣などの循環の展開も広がってきている。循環フェスは名古屋や京都高島屋での開催依頼も受けている。

今後も様々な人や事業者と連携していきたいと、呼びかけがあった。

- release-catch ホームページ | <https://release-catch.com/>

- 循環フェス ホームページ | <https://junkan-fes.com/>

(3) ダイアログ・意見交換

4事業者の取組の共有の後、9のテーブルに分かれ、小グループでの市民対話・ダイアログを行いました。1ラウンド目は、「文化と経済の両立」について、2ラウンド目は、「新しい公共の実現」をテーマに、参加者それぞれの視点から、望むことや考えられる提案等について意見交換しました。

最初のテーマ「文化と経済の両立」では、何のために経済活動をするのか？といった問いかけから地域企業が文化ともにあることや、地域の役に立つことといった視点が共有されたほか、金融機関同士の連携や他の領域の企業とコラボすることで大きな課題を解決できる可能性についての提案もみられ、文化と経済の両立を深めるために「連携」の重要性について議論が広がった。続いて「新しい公共」のテーマでは、事業者が主体で始めた公共的な取組を業界団体が支援し、行政が支え双方向で作るといった視点の共有があり、様々な対話から企業、自治体セクターを超えて「共創の場」づくりへの機運が高まるとともに、相互のことを知るために、連携を生み出す場やそれぞれの取組の見える化についての期待の声が挙がった。

顧問からは、企業の問題は同一業種だけでなく異業種と連携することや、中小企業目線に立ち多角的に解決の糸口を見出すことへの重要性について発言があった。また、未来力会議やこの場から生まれた取組を多くの人々に周知していくために、今後、コミュニティを広げていくことについて投げかけがあった。

ダイアログの様子



ダイアログ・意見交換のテーマ

▷ 1ラウンド

問い:「地域企業が連携しあい、経済の力で文化を生かし、支えるには？」どうしたら良いか

▷ 2ラウンド

問い:「地域企業が連携して、より公共性を発揮するには？」どうしたら良いか

第二部：交流会

交流会は発表者と参加者が交流を深めたほか、参加者の中には来年度の未来の祭典への参加を目指す方がおられるなど、来年度の開催に向けて活発な議論が広がりました。

交流会の様子



●事務連絡

地域企業応援プロジェクトWEBについて

地域企業応援プロジェクトWEBについて 地域企業未来力会議の内容や、地域企業のアイデアの具体化を支援する、「地域企業応援会」等の情報を掲載しています。是非アクセスしてみてください。

京都 地域企業応援プロジェクト 検索 <https://community-based-companies.kyoto/>

京都市 地域企業未来力会議 facebook <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo>

京都・地域企業応援プロジェクトInstagram https://www.instagram.com/cbc_kyoto/

発行：京都市地域企業未来力会議 事務局（京都市産業観光局 地域企業イノベーション推進室）
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL 075-222-3329 FAX 075-222-3331
URL <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>
MAIL chiikigyo@city.kyoto.lg.jp

